

第1.1版（2025年12月15日作成）

国立精神・神経医療研究センター病院にて 終夜睡眠ポリグラフ検査を受けられた方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院 終夜睡眠ポリグラフ検査を実施した際の診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2013年1月から2025年12月に、国立精神・神経医療研究センター病院にて終夜睡眠ポリグラフ検査を受検された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

研究課題名：睡眠ポリグラフデータを用いた精神・神経疾患のデジタル脳モデルの開発

研究期間：研究実施許可受領後～2030年3月31日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部 室長 山下 祐一

3. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：なし

情報等：診療録情報（年齢、性別、身長、体重、人種、診断名、処方内容、既往歴、飲酒・喫煙歴）

質問紙情報（睡眠障害症状尺度、精神症状尺度、社会機能尺度）

睡眠ポリグラフ検査結果、反復睡眠潜時検査結果

(取得方法) 診療録から入手する

4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究は、睡眠ポリグラフ検査を統合して構築される神経回路モデルを開発することが目的です。神経回路とは脳の中の神経細胞が作るネットワークのことです。精神疾患や神経疾患では脳回路の働きに乱れが生じますが、その仕組みはまだ十分に分かっていません。脳の生物学的な情報と実際の症状のつながりが説明しきれていないことが、診断や治療を難しくしています。この問題に対して、神経回路で行われる情報処理をコンピュータでシミュレーションするアプローチが試みら

れています。本研究では、睡眠ポリグラフ検査で得られた脳波、心電図、筋電図を、ニューラルネットワーク(AIに用いられる技術)を用いて学習し、シミュレーションを行うことができる神経回路モデルの開発を行います。この神経回路モデルの開発とシミュレーションを通して、精神・神経疾患の患者さんの脳の中で起きている現象の理解につなげることを目的としています。

研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可受領後に利用開始を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

所属：疾病研究第七部 氏名：山下 祐一

電話番号：042-341-2711